

弓削商船高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	特別活動
科目基礎情報						
科目番号	2A12		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	商船学科		対象学年	2		
開設期	通年		週時間数	1		
教科書/教材						
担当教員	池田 真吾					
到達目標						
学校生活の基本的な生活集団であるクラス内での活動を通し、自己を見つめる姿勢、他者の個性を認め、互いに尊重しあう姿勢、基本的な習慣を身につけ、学校生活に適応できる社会的ルールを守る姿勢を身につけさせる。また、自らの進路について考え、自主的に目標を設定して行動することの重要性を学習する。						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
自己の現状を正しく認識し、必要な対応を決定できる		現状を正しく認識し、必要な対応を決定できる	現状を正しく認識できる	現状を正しく認識できない		
自己を見つめ、他者を尊重できること		他者に配慮しつつ、自らの意見を述べるができる	自分の意見を述べるができる	自分の意見を述べるができない		
学校生活における権利と義務を認識できる		義務を履行した上で、適切に権利を主張できる	学校生活における義務が履行できる	学校生活における義務が履行できない		
学科の到達目標項目との関係						
教養 B1 教養 B2 教養 C3 教養 D1 教養 D2						
教育方法等						
概要	学校生活の基本的な生活集団であるクラス内での活動を通し、自己を見つめる姿勢、他者の個性を認め、互いに尊重しあう姿勢、基本的な習慣を身につけ、学校生活に適応できる社会的ルールを守る姿勢を身につけさせる。また、自らの進路について考え、自主的に目標を設定して行動することの重要性を学習する。					
授業の進め方・方法	学生が主体となって級長・副級長を中心にHRを運営する。					
注意点	・生活指導、目標設定を実施し、定期的に確認指導を行う。 ・毎朝10分間のSHRを実施する。 ・教室を毎日清掃する。 ・HRの活動を手帳に記録する。					
実務経験のある教員による授業科目						
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス、一般的なマナー	公共性を理解できる。		
		2週	1年間の目標	高専2年生として、学校生活や部活動に対する目標を表現できる。		
		3週	活動計画	高専2年生として、学校生活や部活動に対する目標を表現できる。		
		4週	レクリエーション（スポーツ）	スポーツを通じて協調性を学ぶ。		
		5週	シラバスの読み方	シラバスを理解できる。		
		6週	校内体育大会に向けて	校内行事や試験に向けて、主体的に考えられる。		
		7週	前期中間試験に向けて	校内行事や試験に向けて、主体的に考えられる。		
		8週				
	2ndQ	9週	前期中間試験を振り返って	自己の成績から課題を見出せる。		
		10週	生活習慣について	自分の生活習慣を見つめ直す。		
		11週	将来の自分	将来を思い描くことにより、今の自身の行動目標が立てられる。		
		12週	自分の夢①	将来を思い描くことにより、今の自身の行動目標が立てられる。		
		13週	自分の夢②	将来を思い描くことにより、今の自身の行動目標が立てられる。		
		14週	夏休みの過ごし方	長期休業や試験に向けて、主体的に計画を立てることができる。		
		15週	前期期末試験に向けて	長期休業や試験に向けて、主体的に計画を立てることができる。		
		16週				
後期	3rdQ	1週	夏休みの思い出	休業中の行動から課題を見出せる。		
		2週	レクリエーション（スポーツ）	スポーツを通じて協調性を学ぶ。		
		3週	将来の職業について	働くことの意義を理解し、興味や適性からコース選択・資格について主体的に考えることができる。		
		4週	（コースの選択について、取りたい資格について）	働くことの意義を理解し、興味や適性からコース選択・資格について主体的に考えることができる。		
		5週	（コースの選択について、取りたい資格について）	働くことの意義を理解し、興味や適性からコース選択・資格について主体的に考えることができる。		
		6週	商船祭について	商船祭の意義を確認し、積極性をもって取り組める。		
		7週	後期中間試験に向けて	試験に向けて、計画的に準備ができる		
		8週				

	4thQ	9週	学習状況について	学年末試験に向けて中間試験の結果などを基に、現在の状況および学習計画を立てる。
		10週	学習状況について	学年末試験に向けて中間試験の結果などを基に、現在の状況および学習計画を立てる。
		11週	技術者倫理について	技術者として、必要とされる技術者倫理を習得できる。
		12週	技術者倫理について	技術者として、必要とされる技術者倫理を習得できる。
		13週	進路・就職アンケート	卒業後のビジョンをしっかりと見据え、新たな進路に向かっての人生設計を立てることができる。
		14週	学生によるテーマ	学生自らテーマを設定、実施することで主体性を学ぶ。
		15週	1年間の反省と今後の目標	次年度に向けこの1年間を評価する。
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	20	0	0	20	60	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	20	20
思考・推論・創造への適応力	0	0	0	0	0	20	20
分野横断的能力	0	20	0	0	0	0	20
主体的・継続的な学習意欲	0	0	0	0	20	0	20
態度・志向性(人間力)	0	0	0	0	0	20	20